

地球上には、あらゆる場所に様々な種類の花が咲いていて、世界中で約20万種もあるそうです。自然の中だけでなく、私たちの身の周りである家の中やベランダ、道端や公園などにもたくさんの花が咲いています。ちなみに、ウサギ小屋程度の我が家にも、なんと11種類の花が咲いていました！当館の周りにも四季を通じていろいろな花が咲き、来館者の目を楽しませてくれています。また、館内の展示室にも各所に花の展示があり、それぞれの美しさをあらわしています。ただし、展示室の花の多くは、毎日水をあげなくてもよい、手間のかからないものですが・・・

それらのなかでも特に変わった「花」が、当館の地球展示室に咲いています。それは、「砂漠のバラ（desert rose デザート・ローズ）」と呼ばれるものです。一つは、地球展示室の中央にある大型展示ケースの中に納まっているもので、アメリカ合衆国オクラホマ州の砂漠に咲

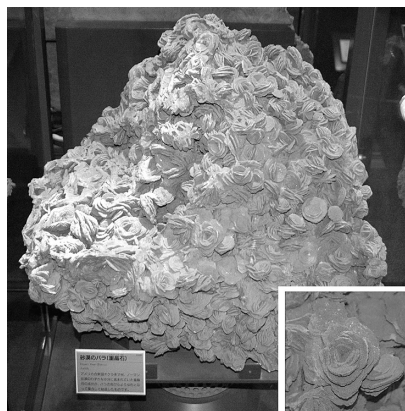


図1. アメリカ合衆国オクラホマ州ノーマン産・重晶石 (KPM-NM0020096)。

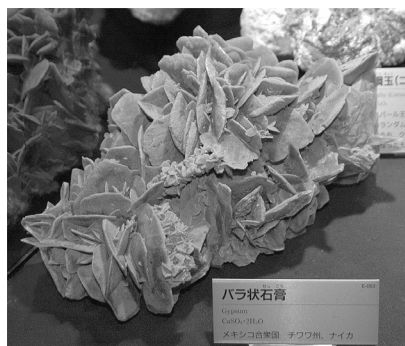


図2. メキシコ合衆国チワワ州ナイカ産・石膏 (KPM-NM0020097)。

いていたものです（図1）。もう一つは、大きな壁に埋め込まれたガラスケースの中ほどに納まっている、メキシコ合衆国チワワ州の砂漠に咲いていたものです（図2）。

もう、これらが植物ではないことに気がつかれたでしょう。では、为什么呢？

実は、この「砂漠のバラ」は鉱物です。鉱物の形がまるでバラの花びらのようであるため、この名がつけられました。展示標本のうちアメリカ合衆国産のものは、硫酸バリウム（ BaSO_4 ）が結晶化した重晶石（じゅうしょうせき Barite バライト）という鉱物でできています。一枚一枚の花びらの大きさは3～5cmほどです。それらがいくつか集まってバラの花のような構造を作り、さらにそれらの花が無数に集まり、大きさ70cm、重さ約300kgの塊となっています。ちなみに、硫酸バリウムは胃のレントゲン写真を撮るときに飲む白い液体の原料です。一方、メキシコ産のものは硫酸カルシウム（ CaSO_4 ）が結晶化した石膏（せっこう Gypsum ジブサム）という鉱物です。こちらは、花びらの大きさは5～10cmと大ぶりですが、標本の大きさは約30cmほどです。花びら一枚一枚の形がはっきりしているのが特徴的ですが、バラの花とは言いがたい気がします。

当館では、その他にも砂漠のバラ標本を所蔵しています。なかでも横浜市在住の石川堯さんからご寄贈いただいたアルジェリア産の標本（石膏）は、一枚の花びらが大きく、大きさが約50cmと目を見張るほど立派なものです（図3）。残念ながら常設展示はされていませんが、企画展や特別展などで紹介してきました。今後も機会がありました

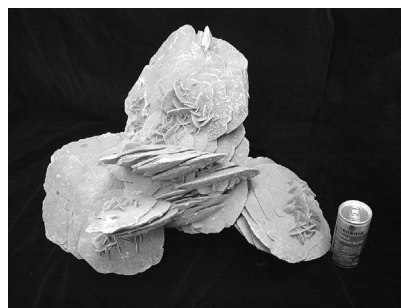


図3. アルジェリア産・石膏 (KPM-NM0020098)。

ら展示したいと思います。なお、砂漠のバラには、炭酸カルシウム（ CaCO_3 ）が結晶化した方解石（ほうかいせき Calcite カルサイト）でできているものもあります。

では、このような砂漠のバラは、どのような場所で、どのようにしてできるのでしょうか。砂漠のバラが採集されている場所は、展示標本に見られるようにアメリカ合衆国オクラホマ州やメキシコ合衆国チワワ州の砂漠地帯や、アフリカのサハラ砂漠など極端な乾燥地帯です。砂漠地帯の降水量はわずかですが、まとまった雨が降ることもあります。その大部分は蒸発してしましますが、一部は地表から浸透して地下水となります。この地下水が流れてオアシスなどで地表に現れます。そしてまた、一部の地下水は毛細管現象によって地表に向って上昇し、蒸発していきます。砂漠のバラは上昇してきた地下水が蒸発する際に、その中に溶けていた硫酸バリウムなどの成分が濃集し、さらに周りの砂を取り込みながら結晶化してできたものです。地下数cm～数mのところに多く生成するといわれています。砂漠のバラの色は、結晶の中や表面にある砂粒の色が反映されているので、故郷の砂漠の色といえます。

砂漠のバラは砂漠地域の特殊な環境でしかできないと思われていますが、なんと身近で形成された例もあります。縄文時代の貝を採集するため、横浜市金沢区六浦町のポンプ場の沖積層の泥を乾燥させていたところ、5mm程度の可愛らしいバラの花状の石膏が結晶化しました。泥の中に硫酸カルシウムの成分が含まれていて、博物館内の乾燥した環境の中でできたようです。

なぜバラの花のような形になるのか、その原因はまだよく分かっていません。植物の花の形もそうですが、自然がつくる形の不思議といえます。

さて、砂漠のバラとは、鉱物の形状がバラの花に似ているためつけられたのですが、植物にも「砂漠のバラ」と名づけられているものがあります。キョウチクトウの仲間、原産地は東アフリカで熱帯や亜熱帯地域に生息するものだそうです。蛇足まで。